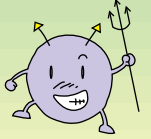


長引く咳や だるさ、 体重減少…もしかして

結核?!

結核なんて過去の病気…と思いませんか？

結核は、年間3万人(本県は1,200人)が発症しており、
今なお「わが国最大の感染症」のひとつとなっています。
また、発病者の半分近くは高齢者の方です。



皆さんも次のことに注意し、結核の早期発見・早期治療に努めましょう。



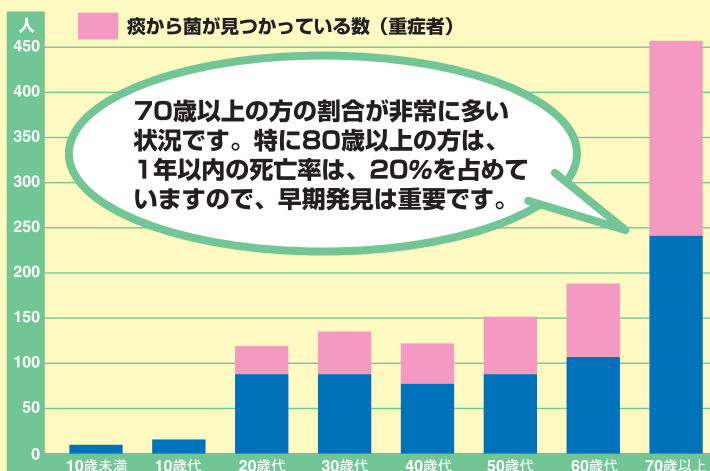
- 結核の初期症状は、風邪とよく似ています。
2週間以上咳が続くようでしたら、必ず医療機関を受診しましょう。



- 高齢者の方は、症状が無くても発病している場合があります。
食欲低下や微熱は要注意です。
その様な時は受診し、医師によくみていただきますよう。

結核新登録患者数(平成19年確定値)

◆約40%の結核患者が、他の人へ結核をうつす可能性がある状態で発見されています。



- 職場等での健診の対象者の方又は市町村で行っている結核住民健診の対象者(65歳以上)の方は、必ず健診を受けましょう。

★結核は、注意をしていればそれほど怖がる必要はありません。

★結核の早期発見は、本人の重症化を防ぐだけでなく、大切な家族や職場等への感染の拡大を防ぐためにも重要です。

結核に関する問い合わせは、最寄りの健康福祉センター(保健所)まで

千葉県・千葉県医師会・千葉県薬剤師会